

これからのミュージアムの広報を考える —公立人文系ミュージアム編

今、我々の生きている日本社会は未曾有の少子高齢化に突入しており、そのことが深刻な人手不足を招いている。また社会経済状況も不安定な状況が続き、この点もミュージアムの経営に大きな不安をもたらしている。

そこで近畿支部とコレクション・マネージメント部会では共同でこれからのミュージアムマネージメントを考える研究会を開催することとした。その第1回目として「広報」を取り上げる。ミュージアムの広報は館種、規模によっても様々であろう。そこで今回は都道府県立、市町村立、いわゆる「公立」のそれも歴史系、美術系などの「人文系」に限定して取り上げてみることにした。このような時代の中でどのようにミュージアムの経営戦略を立て、館の活動を広報していくのか？パネラーからの現場の声を聴き、参加者と共に議論してみたい。

- 日時：2024年1月27日（土）13:00～16:30（予定）
- 場所：阪南大学あべのハルカスキャンパス（大阪市阿倍野区阿倍野筋1丁目1-43 あべのハルカス23階）
オンライン（ZOOM）併用

- パネラー：市橋芳則氏（北名古屋市歴史民俗資料館）
青木加苗氏（和歌山県立近代美術館）
大保和巳氏（高知県立高知城歴史博物館）

- コーディネーター：井上 敏（桃山学院大学 JMMA理事/近畿支部長・CM研究部会長）
和泉大樹（阪南大学 JMMA CM研究部会 幹事）

- プログラム：
 - 12:45～ 受付開始
 - 13:00～13:20 挨拶・企画趣旨説明 井上敏・支部長/研究部会長
 - 13:20～14:00 高知県立高知城歴史博物館の概要と広報について（大保和巳氏）
 - 14:00～14:40 和歌山県立近代美術館の概要と広報について（青木加苗氏）
 - 14:40～15:20 北名古屋市歴史民俗資料館の概要と広報について（市橋芳則氏）
 - 15:20～15:30 休憩
 - 15:30～16:30 質疑応答・討論

※パネラーの演題はすべて仮題です。

- 定員：50名（先着順、会員外も参加可能）
- 参加申込：JMMA事務局までメールまたはHPの参加申込フォームからお申し込み下さい。
 - 【フォームでの申込】研究会名はを選択してお申し込みください。
 - 【メールでの申込】件名に「1/27 近畿支部会参加申込」として、下記項目を明記のうえ、お申し込みください。
 - ①参加者名 ②ご所属 ③ご連絡先（電話・メールアドレス）
 - ④参加方法（会場orオンライン）を明記してください。